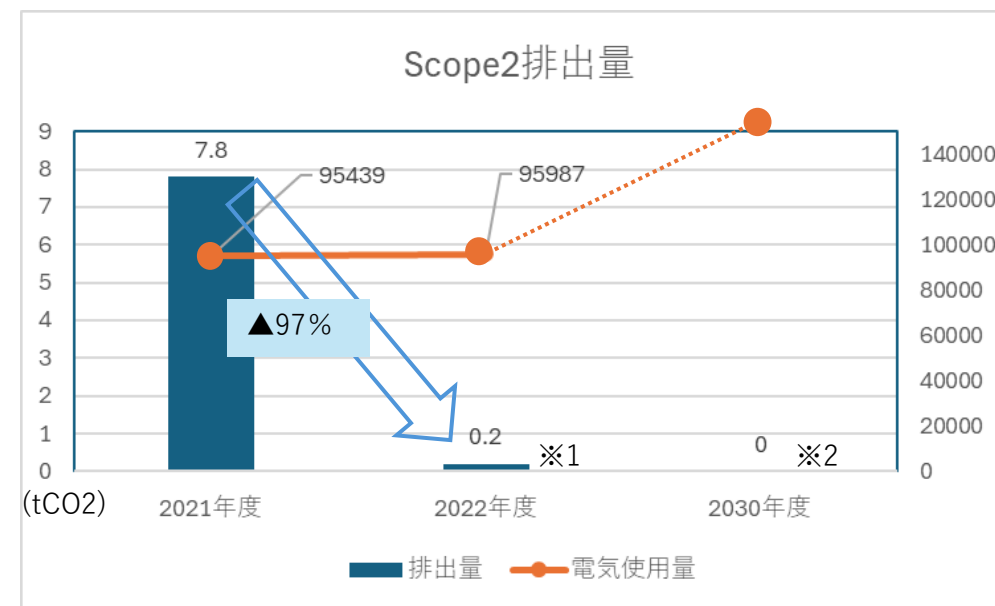
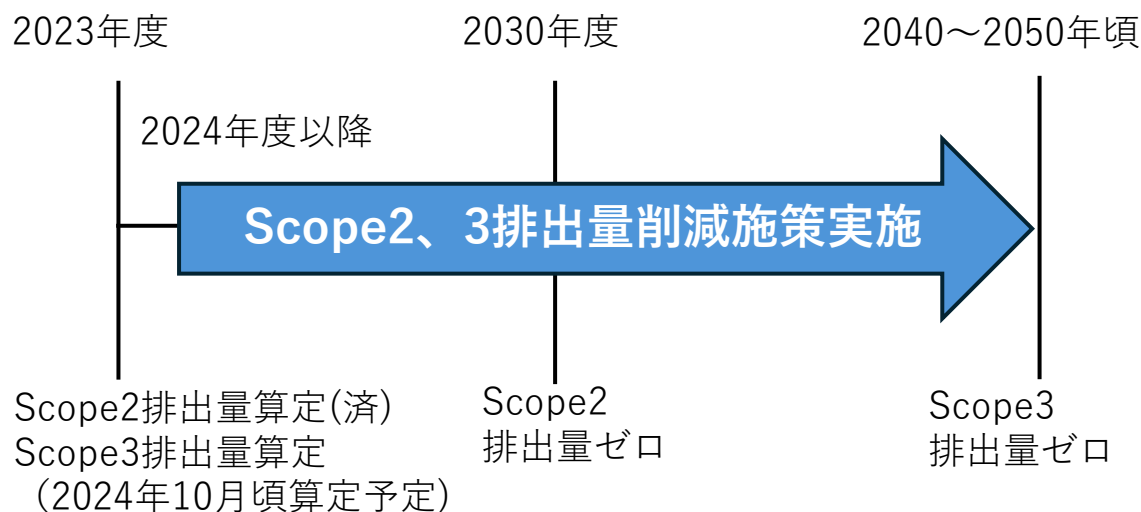


中期経営計画書

2024～2026年度

CO2排出量の削減目標

- Scope2は2030年までにCO2排出量ゼロを目指します。
- Scope3は2024年度に排出量の算定を実施し、サプライチェーン全体での排出量削減のための施策立案を行っていきます。
- Scope3についてはSBT水準を念頭に置きつつ、ステークホルダーとのエンゲージメントの中で当社が実現すべき目標水準を検討します。



※1 ビル、データセンタにて、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えにより、排出量削減。

※2 電気使用量は、事業拡大により増加を想定。

■目標実現に向けた取り組み

現在までの取り組み：

再生可能エネルギー契約しているビルへ入居やデータセンタの利用、省エネ製品購入など

今後の取り組み：

- ・ Scope2

FIT非化石証書の購入や再生可能エネルギー由来の電力等を契約しているテナントへの入居により、CO2排出量ゼロを目指します。

- ・ Scope3

2024年度にScope3排出量を算定し、ホットスポットを特定します。その後、サプライチェーン全体での排出量削減に向け、サプライヤー様とのエンゲージメントを高めていきます。

具体的施策：

- ・ 算定業務効率化や属人化排除のため、GHG排出量算定システムの導入（2024年8月導入済み）
- ・ Scope3の排出量算定を2024年10月から開始する
- ・ 社内外への排出量の開示を行う
（自社ホームページにサステナビリティページを作成し、排出量情報や中期経営計画書を掲載）
- ・ サステナビリティ関連の委員会の設置を行う（活動内容：啓蒙活動等の検討・実施）

■Scope2排出量算定結果

再生可能エネルギーメニューを電力契約しているビルやデータセンタを利用していることから、2022年度のScope2排出量は0.2t-CO2となっております。(Scope1は算定対象なし)

温室効果ガス排出量の実績

BFTにおけるCO2排出量実績は以下の通りです。

(単位：t-CO2)

範囲	2021年度	2022年度
Scope1	-	-
Scope2(ロケーション/マーケット)	41.3/7.8	41.7/0.2
Scope3※	-	-

※Scope3については、2024年度中に算定予定